

令和8年度春季入学春季募集 熊本県立大学大学院 環境共生学研究科
博士前期課程 外国人留学生特別選抜試験問題 英語 解答例

食品廃棄物は近年、環境、経済、そして社会に影響を及ぼす深刻な世界的問題となっています。多くの食品が、食べられないという理由ではなく、傷、奇妙な形、あるいは商業基準を満たさない小さな欠陥があるという理由で廃棄されています。農場から工場、スーパーマーケット、そして家庭に至るまで、食べられる食品が見ただけを理由に廃棄され、水、エネルギー、そして労働力の浪費につながっています。その結果、食品の生産に使われた水、エネルギー、そして労働力が無駄になり、天然資源の枯渇が深刻化し、環境悪化を加速させる可能性があります。

環境への悪影響に加え、食品廃棄物は甚大な経済的損失をもたらします。売れ残った食品を廃棄することで企業は損失を被り、家庭では購入して冷蔵庫に保管したものの使わなかった食品を廃棄することで収入を無駄にしています。同時に、世界中で何百万人もの人々が飢餓と食料不安に苦しんでおり、食料の豊富さと不足という対比は、現代社会における大きな倫理的課題となっています。

食品廃棄物を削減するには、個人レベルとシステムレベルの両方での行動が必要です。消費者は献立を計画し、慎重に買い物をし、食品を適切に保管し、賞味期限や食品の品質についてより意識を持つことができます。政府、学校、企業も、食品の保管・流通システムの改善、食品ロスに関する教育の推進、持続可能な消費習慣の促進など、食品ロス削減に向けた重要な役割を果たすことができます。これにより、将来、より責任ある公平な食料システムが構築されるでしょう。